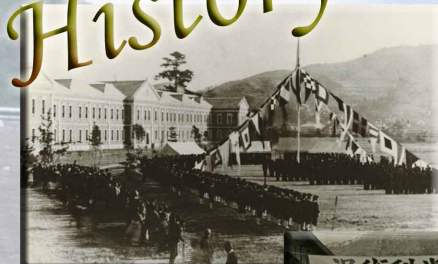


歴史と伝統に育まれた「第1術科学校」によようこそお越し下さいました。

江田島の海上自衛隊は「第1術科学校」のほか、「幹部候補生学校」等が所在する教育のメッカであります。

本日は、時間の許す限り美しい構内をご見学いただき、海上自衛隊の教育の現状をご理解いただければ幸いに存じます。

History



海軍兵学校生徒館落成式



術科学校開庁

沿革

- 明治 21 (1888) 年 東京築地から海軍兵学校が移転
- 明治 26 (1893) 年 海軍兵学校生徒館（現海上自衛隊幹部候補生学校庁舎）完成
- 昭和 20 (1945) 年 海軍兵学校閉校
- 終戦後 連合軍（米軍及び英連邦軍）が駐留
- 昭和 31 (1956) 年 旧海軍兵学校地区返還式
横須賀から海上自衛隊術科学校が移転
- 昭和 32 (1957) 年 海上自衛隊幹部候補生学校独立開校
- 昭和 33 (1958) 年 組織改正により第1術科学校へ名称変更し現在に至る。



第1術科学校

第1術科学校は、主として艦艇に乗り組み、砲術、水雷、船務、通信、航海、気象海洋、掃海機雷、運用、応急及び潜水等の配置で勤務する隊員に対して専門教育等を行っています。約600名の幹部及び海曹士の学生が教育を受けており、年間約2,800名の学生が当校で学んだ後、全国各地で活躍しています。



幹部候補生学校

幹部候補生学校は、海上自衛隊の初級幹部自衛官として必要な知識と技能を習得させるための教育訓練を行っています。

幹部海上自衛官となるすべての者は、ここで教育を受けます。



第1術科学校学生館



第1術科学校学生館（初代）



国旗掲揚

古鷹山



幹部候補生学校庁舎（旧海軍兵学校生徒館）

卒業式等を行う場である大講堂は、大正6(1917)年に瀬戸内海の島々で産出された良質な御影石で造られ、建坪は約500坪、収容人数は約2,000名です。

講堂内の天井はドーム型で舵輪型シャンデリアが設けられ、海軍兵学校時代には、天皇陛下の名代として宮様のご臨席を仰ぎ厳粛に入校式及び卒業式等の儀式が行われました。

大講堂

Naval History Museum

教育参考館

教育参考館は、海軍の歴史と伝統保存、自己修養と学術研鑽の資とすることを目的として、昭和11(1936)年に海軍関係者や財界等の寄付金によって建てられたものです。

昭和20(1945)年の終戦により海軍は解体され、当館も閉館されました。

昭和31(1956)年1月に連合軍から日本へ返還されたことにより海上自衛隊の施設となっております。かつての、海軍軍人が神聖な場所として遺徳をしのいだ教育参考館は、現在も海上自衛隊員の心の勉強をする場として復活したもので、海軍の歴史に関する貴重な資料約1,000点を展示しております。

各種セレモニー



卒業式

教務風景



実習(射撃訓練装置)

鍛錬行事



登山競技

部外協力



災害派遣



観閲式



手旗訓練



遠泳訓練



撮影協力(坂の上の雲)

●一口PR：海上自衛隊の学校は、江田島の他、幹部学校（東京都目黒区）、第2術科学校（神奈川県横須賀市）、第3術科学校（千葉県柏市）第4術科学校（京都府舞鶴市）があります。

●構内見学のご案内

・見学開始時間：平日 10:30、13:00、15:00（土日祝祭日 10:00、11:00、13:00、15:00）【都合により休止となることがあります。】

・見学所要時間：約90分 【見学無料】（ガイドによる見学となります。）

・アクセス：小用港からバス又はタクシーで約7分、呉市内から車で約60分（駐車場有り。）

・ご注意：20名以上の団体見学については、事前予約が必要になりますので、第1術科学校公式ホームページ又は広報係までお問い合わせ下さい。

●見学に関するお問い合わせ

〒737-2195 広島県江田島市江田島町国有無番地 海上自衛隊第1術科学校広報係

TEL0823-42-1211 代表（内線2016）Eメール 1mss-kouhou@inet.mod.go.jp

第1術科学校公式ホームページ <http://www.mod.go.jp/msdf/onemss/index.html>



ご意見・ご感想お聞かせ下さい。
QRコード（第1術科学校Eメールアドレス）